

平成28年2月15日

岩出市教育委員会 様

岩出市教育委員会評価委員会
委員長 富永茂郎

平成27年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、私たち評価委員は教育委員会の委嘱を受け、平成28年2月3日及び平成28年2月15日の2回にわたり評価委員会を開催しました。評価対象事業は、第2次岩出市長期総合計画の「活力あふれるまち ふれあいのまち」に位置づけられ、教育委員会が作成した平成26年度37事業の内容及び評価について事務局へ質疑応答を行い、その結果を踏まえ意見を取りまとめました。

自己評価は、一部を除きほぼ「期待どおり」とされており、総合評価として課題や今後の対応並びに市教育委員会の方向性等が示されています。なお、「やや下回る」と自己評価されている3事業については、改善への取り組み、また、「期待以下」の1事業については、事業の見直しを求めるものであります。

教育総務課では、まずは、「小・中学校施設改修事業」や「通学路整備事業」等の実施により、児童・生徒の命を守り安全確保を図ることを最優先に取り組むとともに、安全・安心な学習環境を確保し、その上で、「確かな学力の育成のための実践研究事業」、「紀の国緑育推進事業」、「いわでアスリートクラブ事業」等を実施することにより、「確かな学力・豊かな心・たくましい体」のバランスのとれた児童・生徒の育成を図ろうと努めていることがわかります。また、「放課後児童健全育成事業」や「私立幼稚園就園奨励費補助事業」等の実施により、子育て世代への支援を手厚く実施しています。

今後も引き続き、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成に努めていきたいと考えます。

生涯学習課では、刑法犯認知件数の高い本市の状況を鑑み、関係機関とのさらなる連携のもと、青少年の健全育成に重点が置かれていることがわかります。さらに、「放課後子ども教室推進事業」や「公民館事業」等、子どもからご年配の方まで幅広い層を対象とした諸事業を実施され、生涯学習の推進と振興に努められています。また、「市民運動会」や「岩出マラソン大会」の開催、スポーツ少年団等に対する助成などを通じ、生涯スポーツの推進にも努められていま

す。

今後も、市民の皆様の生涯学習ニーズを的確に把握し、幅広い年代層のニーズに合った事業を展開されるよう期待します。

岩出図書館では、「図書館司書派遣事業」を新規に立ち上げ、幼少期から読書に親しめるような取り組みを進めるとともに、従来からの「家族ふれあい読書推進事業」をより充実し、学校との連携を強力に推し進めながら児童・生徒の読書活動の充実に努められています。

読書活動の推進は、読解力の向上につながるだけでなく、創造力や豊かな心を育むことに大きく寄与します。今後もより一層学校と連携し、児童・生徒の読書の活性化を図っていただきたいと思います。

民俗資料館では、根来寺をはじめ地域の歴史や文化を伝えるための様々な取組を実施しています。京奈和自動車道「岩出根来インターチェンジ」の開通や、「旧和歌山県会議事堂 一乗閣」及び「ねごろ歴史資料館」のオープンに伴い、これまでの民俗資料館の役割のほかに、岩出市の観光拠点という役割を果たすことが求められるようになることでしょうか。こういったことから、今後は、多くの観光客誘致も視野に入れた教育委員会全体での取組に期待します。

ここで平成26年度教育委員会点検・評価とは直接関係はありませんが、平成27年8月27日に、市民プールにおいて幼児が溺水し、死亡するという痛ましい事故が発生しています。このような事故は二度と起こることのないよう、教育委員会が一丸となって再発防止に取り組まれるよう強く要望します。

諸事情は理解しますが、点検・評価の意義に鑑み、もっと早期での委員会開催を、切に熱望します。

前述のとおり、岩出市教育委員会では、2課2館が連携しながら、児童・生徒の健やかな成長、生涯学習社会の実現を目指して諸施策を実施されています。今後、事務事業の自己点検・自己評価の過程を通して、職員の意識改革や政策形成能力の向上を図るとともに、この評価の結果を、来年度以降の教育行政の一層の充実・発展のために反映していただきたく、本意見書を提出します。

なお、個別の事務事業についての主な意見は、以下のとおりです。

教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分	主 な 意 見	
学校教育の充実	いわでアスリートクラブ事業	本クラブ出身者がジュニア駅伝等でも活躍しているため、今後も本クラブの充実・発展を期待する。
	適応指導教室事業	入室者や相談件数が昨年度に比べ伸びたことは、本事業の成果と言える。しかし、本事業を活用できていない不登校児童生徒の方が圧倒的に多いため、本事業のさらなる周知が必要である。
	児童携帯用防犯ブザー補助事業	申請率が伸び悩んでいるとのことであるが、児童の安全確保の観点から考えると、申請率よりも携帯率の方が重要である。是非携帯率を調査してほしい。
	通学路危険ブロック塀等改善事業	利用件数がなかったということであるが、学校、道路管理者、警察等と合同で実施している通学路の安全点検時に、該当物件がないか確認し、市から積極的に働きかけてはどうか。
	確かな学力育成のための実践研究事業	成果の指標が曖昧であるという課題が出ているので、指標に全国学力テストや県・市の学力テストを活用してはどうか。成果がすぐに平均正答率に反映するものではないだろうが、これらのテストに付属しているアンケート等を指標として活用してはどうか。
	和歌山を元気にする職場体験事業	本事業は、進路を1年後にひかえた中学2年生にとって、自分の進路を真剣に考える絶好の機会となるため、報告書には特段の記載はないが、今後も本事業の充実を求める。
子育て環境の充実	放課後児童健全育成事業	平成27年度から子育て支援課へ移管しているが、本事業充実のため、引き続き子育て支援課との連携を継続してほしい。
国際交流の推進	外国青年招致事業	外国青年招致事業については、本市への留学生と児童・生徒との交流の充実や、本市からの留学生の派遣等についても検討していただきたい。
青少年の健全育成	青少年育成事業	<p>青少年の健全育成のため、多くのボランティアの方々にもご協力いただきながら、各種機関と連携した様々な事業や行事が展開できており、引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>しかし、地区によって若干の温度差があるので、広報・啓発に努めてほしい。</p>
生涯学習の推進	放課後子ども教室推進事業	本事業は、放課後の安全・安心な居場所づくりに貢献するだけでなく、児童が様々な文化的・社会的体験を積むことのできる重要な事業である。引き続き本事業の充実を努めていただきたい。
	公民館事業	公民館は、市民の多様な学習ニーズ等に応える施設であると同時に、災害発生時の避難場所として位置づけられている。現在進めている改修工事を計画どおり進めていただきたい。

生涯学習 の推進	市民運動会 事業 岩出マラソン 大会実行 委員会助成 事業	両事業とも岩出市の恒例行事として広く市内外に知られ定着してきているため、今後も継続していただきたい。 しかし、マンネリ化しないように常に内容や実施方法等を見直す必要がある。
	図書館司書 派遣事業	学校への司書の派遣に伴い、学校の図書室が一気に充実し、子どもたちの読書への興味関心を高めることに大きく寄与している。このように効果が顕著であるため、派遣日数の増について検討していただきたい。
	図書館利用 促進事業	各種のイベントを工夫し図書館利用の促進に努めている。今後はスマートフォン世代の利用者をいかにして増やすかが課題である。
	図書等購入 事業	岩出市の郷土資料は、そのものが少ないように思われるが、多方面に呼びかけ郷土資料の収集に努めていただきたい。
文化・芸 術の振興	文化祭事業	出品点数が横ばいであるとのことであるが、出品申込み期間が短いという声を聞いたことがある。準備等の都合もあると思われるが、申込み期間を検討してみてもどうか。
	民俗資料館 展観事業	様々な企画による展観事業を実施できている。 現在、「ねごろ歴史資料館」の建設が進められているが、今後は、新しい資料館との差別化を図っていく必要がある。 また、中学校にあまり活用されていない船戸山古墳の資料があるので、この資料の活用方法を考えてみてはどうか。
人権尊重 の推進	人権啓発事 業	本事業の一つである「人権啓発地方委託事業」は、毎年様々なテーマを設け関係機関と連携しながら実施されている。今後も諸機関との連携を強化しながら内容を工夫していってほしい。